

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDS 犬山校			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	2025年 12月 3日 ～ 2025年 12月 9日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 10日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子様が楽しんで通っていただけていること。	・個別での支援を行っていますので、その日のお子様の調子に合わせて支援を行っています。	・職員の基礎知識を付けていくためにOJTやOff-JT等を積極的に行っています。
2	・保護者様同士の交流ができたこと。	・保護者セミナーを開催して保護者様同士が交流する場を設けることができた。	・今後も保護者様同士が交流できる場を設けていきます。
3	・共感的な支援ができています。	・トレーニングの中で褒めることを意識して支援を行うことができています。 ・外部の研修に参加しています。	・これからも共感的な支援を行っていきます。 ・外部の研修にも積極的に参加していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設内に段差が多いこと。	・階段の一段一段が高くなっていることです。	・段差が改善できるように只今検討中です。
2	・駐車場の入り口が入りにくいこと。	・歩道のブロックの位置と駐車場の入口がズレていることです。	・駐車場の入口に反射材を設置する予定です。
3	・一日の定員の人数が少ないこと。	・職員配置が基準人員に満たしているがそれ以上に職員がいないことです。	・求人を出していきます。 ・VMCトレーニングを理解していただけるように体験会も検討していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 S.I.C.KIDS 犬山校

公表日 R7年 12月 27日

利用児童数 47人(きょうだい児4組)

回収数 24

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	3	1		・少し狭いかと思います。精一杯スペースを確保していただいているとは思っています。	・今後も限られたスペースの中でより良い活動ができるように工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24					・基準人員以上の配置ができています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	5		1	・建物の構造上どうしても思いませんが、廊下の段差などが気になります。会議室のガラス窓(廊下側、室内の窓)も怪我しないかも気になる。	・ご意見ありがとうございます。段差につきましては段差を少しでも低くできる方法を検討中です。ガラス窓につきましては強化フィルムを貼る予定です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	2				・日々掃除・消毒・整理整頓を行っています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24				・意向を汲んでいただきありがとうございます。	・ありがとうございます。今後もお子様の状態に合わせて支援していけるように努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24					・支援内容にあった支援プログラムを今後も取り組んでいきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24					・今後も客観的に分析し個別支援計画書を作成していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23			1		・これから丁寧に面談をし計画書を作成していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23			1		・計画に沿った支援を行っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23			1	・長く続けることができています。 ・毎回工夫されたトレーニングを考えていただき、楽しんで取り組んでいると思います。	・ありがとうございます。S.I.C.KIDSのVMCトレーニングの種類は数多くお子様が飽きることはないように提供させていただいております。
保護者 への 説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	1	12		・ご要望に沿って検討していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明がありましたか。	24					・今後も丁寧な説明を心がけていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24					・支援内容については計画書の作成や更新の際に説明しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	1		1		・公式LINEを活用して情報提供しています。 ・今後も検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	23	1			・時々、家での様子などを聞き取りしていただき、状況を共有できていると思う。	・保護者様と直接お話をさせていただく中で、情報の共有をし、共通理解ができるようにしていきます。また、公式LINEも活用していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	1				・定期的に面談を行っております。 ・何かお話ししたいことや相談したいことがありましたらいつでもお声掛けください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1			・ほめてくださるので自信につながっていると思います。	・ありがとうございます。できている時はもちろんですが、結果上手くできなかったことでもその過程には必ずできている部分はありますので、常に共感するよう心掛けていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16		1	7		・ご要望に沿って検討していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21			3		・急な相談事はすぐに対応できない場面があるかもしれませんが、事前にお声掛けいただけるように周知します。また、相談事に対応できるように職員全員でスピード感を持っていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1				・今後も意思の疎通や情報の伝達を心掛けていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。				2		・公式LINEやInstagramを活用して情報発信を行っています。 ・自己評価の結果は、S.I.C.KIDSのホームページやWAM NETで公開しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。				2		・鍵付きの書庫に保管し、十分注意しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1		3		・マニュアルは作成したものを玄関に置いてあります。 ・必要に応じて説明させていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21			3		・年に2回実施しています。 ・次回令和8年3月に予定しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22			2		・安全確保計画はいつでも閲覧していただけるように、玄関に置いてあります。 ・必要に応じて説明もさせていただきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			5		・契約時に説明させていただいております。何かあればまず保護者様にご連絡させていただきます。 ・必要に応じて現場を見てもらいながら状況の説明もさせていただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24					・今後も安心感を持っていただけるように支援させていただきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	1			・いつも楽しみに通っています。ありがとうございます。 ・とても楽しいそうで、うきうき行きます。 ・様々なトレーニングがあり、毎回楽しく通わせていただいております。	・今後も楽しく通っていただけるようにしていきます。 ・楽しんでトレーニングしていただけるようにプログラムを考えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24				・もう少し月の利用回数が増やせるとよい。 ・いつもありがとうございます。	・大変ご迷惑御おかけしております。職員の人数が増えることで一日に受け入れることができるお子様が増えるので、職員募集を常に行っています。職員が増えれば利用回数も増やして頂けると思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
S.I.C.KIDS 犬山校		R7年 12月 27日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・スペースが限られているので、教具の配置を考慮しています。	・今後も柔軟な発想で決められたスペースの中でもより良く活動できる様に工夫していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・規定に準じた職員配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・建物の構造上バリアフリー化は難しいですが段差を少しでも解消していけないか検討中です。	・構造上バリアフリー化が難しくトレーニングルームに向かうまでに段差があるので改善が必要かと思っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日掃除やアルコール消毒を行っています。	・これからも毎日掃除・消毒・整理整頓を行っていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・相談室をクールダウンの場として使用できます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・全職員に周知するようにして業務改善に努めています。	・ミーティングの時に話す場を設けています。当日休みの職員は後日書面で確認しています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者様に提出いただいた評価表を基に業務改善をしています。	・業務改善を意識しながら業務を行っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎日ミーティングを行い意見交換をしながら業務改善につなげています。	・引き続き毎朝のミーティング等で意見交換の場を増やし、業務改善に繋げていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			・第三者による外部評価は受けておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・外部研修や法人内での研修を行っています。	・今後も参加していき、知識を深めていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・定期的にプログラムの内容を変更しています。	・支援プログラムが偏らないよう今後も配慮していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・お子様のニーズは本人全員に聞くことは難しいですが、保護者様のニーズや支援の様子を聞いて作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・支援者会議で全員から意見を聞いて検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援計画書の簡易版を個別のファイルに貼り全員で共有しています。	・個別支援計画書が細分化されているため必要な情報を抜き出して共有できるように努めてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・アセスメントシートや原始反射のチェックシート等を元に適応行動について確認をしています。	・フォーマットの改善をこれからも行っていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・具体的な支援の内容が設定されています。 ・内容については精査していき必要に応じて変更していきます。	・支援内容については情報共有を行い、支援内容に沿った支援を提供し続けて行けるように意識を向けていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・毎日のミーティングの場で話し合ったり支援会議の場で話し合いをして共有しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・1人1人に合ったプログラムを作成し、定期的に見直ししています。	・新たなプログラムが立案できるよう努めてまいります。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		○	・集団活動は行っていないが、集団活動に向けた支援内容を取り組んでいる利用者様もみえます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援開始前にミーティングを行い、必要に応じて役割分担をしています。	・ミーティングの方法も常に変化させ、より良い方法を模索していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後や翌日に振り返りを行っています。	・支援終了後の少しの時間や翌日に振り返りを行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・記録をもとに話し合ったり、改善につなげていたりしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年以内にモニタリングを行い定期的に見直しをしています。	・適切な見直しを行っていけるように努めています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・イベントとして苗植え、田植え等を行い収穫も行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・1人1人に合った支援を心掛けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・積極的に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・体制を整えることができています。	・必要に応じて情報共有を行っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○	・送迎を行っていないので担当者会議以外での情報共有は行えていません。	・保護者様と連携をし、必要に応じて情報共有をしています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	・担当者会議で情報共有は行っていますが、全員ではありません。	・必要に応じて情報共有を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	・現在該当する利用者はいません。	・保護者様のニーズに寄り添って検討していきたいと思います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	・犬山市子ども部会において情報共有を行っています。	・今後も必要に応じて行っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・現在交流はありません。	・現在交流など行っていません。必要に応じて検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・可能な限り参加していますが、難しい日が増えてきています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・支援終了後に保護者様と話をしています。	・ご説明をする時は、今以上に分かりやすく説明できるように工夫していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・LINEやチラシで情報提供を行っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明しています。	・ご説明をする時は、今以上に分かりやすく説明できるように工夫していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・支援計画書を作成する際は保護者様と話す場を設け、家族の意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・計画書を作成した後は必ず説明を行い、同意を得てから署名をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・計画書の見直しを行った時の面談時や普段の送迎時に話をしています。必要に応じて面談の時間を設けています。	・悩み等を相談していただける体制を常に取っています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		・イベントを定期的に行い交流の場を設けています。 ・また、保護者セミナーを開催し、保護者同士で交流する時間も設けました。	・保護者セミナーを開催することができました。今後も開催できればと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・迅速に対応するように心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・公式LINEやInstagramを活用して発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・鍵付き書庫で保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・可能な限り配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・地域住民の方を招待する行事は行っておりません。	・保護者様のニーズに寄り添って検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・定期的に訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを定期的に見直し、訓練を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・アセスメントシートを活用し、確認しています。 ・てんかんの方は症状を職員間で共有し、緊急時の対応も確認しています。	・事業所内での情報共有を心掛けていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			・食事の提供は行っておりません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画は玄関に置いてあります。 ・研修や訓練を定期的に行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・避難訓練を行う時は事前に保護者様に伝えていきます。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事業所内で共有しています。	・ヒヤリハットの報告頻度をもう少し上げていけるといいと考えます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・偶数月や新人職員が入った月に研修を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・支援計画書に記載し、説明時に必ず伝えていきます。	